

# 令和3年度 後期 学校評価アンケート結果

光市立上島田小学校

※ 評価点は4点満点、数値は上段が今回、下段がR3前期。太字は前回より0.1pt以上アップ、網目は0.1pt以上ダウンした項目

学校評価項目		児童	保護者	地域	教職員	総合評価		考 察		
1	学力の向上	教員の授業力、学力向上を目指した授業改善に関する評価	3.91	3.82	3.89	3.50	R3後期	3.54	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善については、前期に比べておおむね高い評価が見られた。特に児童の「授業がわかりやすい」評価が高かった。</li> <li>家庭学習も前期と比べると全体的に評価が高かった。家庭学習に「主体的に」取り組む姿勢が見られるようになったこと、計画的に学習に取り組む様子が伺える。</li> <li>ICTを活用した学習に関しては、保護者の評価が特に高かった。タブレットの持ち帰りを定期的に行ったことにより、ICTを活用した学習を保護者の方に理解してもらえたからではないだろうか。児童はメタモジを活用してタブレットで家庭学習を行うことに慣れてきた。</li> </ul>	
		家庭学習の定着に関する評価	3.80	3.65	4.00	3.25				
	ICTを活用した学習に関する評価	3.47	3.64	-	3.33	R3前期	3.39			
2	3.30	3.14	-	3.17						
3	3.47	3.64	-	3.42	3.08					
4	心の教育の重視	体験活動を通した心の教育の推進に関する評価(ふれあい、縦割り、清掃等)	3.77	3.18	3.89	3.42	R3後期	3.30		<ul style="list-style-type: none"> <li>後期も掃除の時間は黙って隅々まで掃除に取り組む姿勢が全校で見られた。また、11~12月は縦割り班活動やトーク活動などのふれあい活動を多くしたことにより、児童の評価が高かったと思われる。</li> <li>読書活動については、前期と比べて児童、保護者、教職員の評価が0.1pt以上高くなった。読書に親しむ姿勢が学校だけでなく、家庭でも見られるようになったからではないだろうか。今後も引き続き読書に進んで親しむ子どもの育成のために全校で取り組んでいきたい。</li> <li>気持ちのよい挨拶の励行に関しては、前期に比べると地域の方の評価が低かった。再度「あいさつで笑顔あふれる上島田」のスローガンを全校で共有していきたい。</li> </ul>
		読書活動に関する評価(一人50冊)	3.67	3.04	4.00	3.42				
	3.60	2.44	-	3.25	R3前期	3.27				
5	3.42	2.29	-	3.08						
7	3.43	3.71	3.22	3.50	3.58					
3.41	3.67	3.56	3.58							
8	体力・安全の充実	「早寝」・「早起き」・「朝ごはん」運動に関する評価	3.45	3.29	-	3.50	R3後期	3.40	<ul style="list-style-type: none"> <li>「早寝」「早起き」「朝ごはん」運動に関しては、教職員の評価が高くなった。生活リズムを意識して行動できるように呼びかけや指導を繰り返してきたことが分かる。</li> <li>学校の休み時間には元気に外遊びを行う児童の姿がたくさん見られた。結果として前期に比べて児童の評価が高かった。多様な運動経験については、コロナ感染拡大防止のため制限された活動があったため難しかった。</li> <li>安全な行動に関する評価については、児童の評価が高かった。不審者避難訓練を行ったことが理由と思われる。保護者の評価から、児童が交通安全に留意していることが分かった。</li> </ul>	
		外遊びの奨励と多様な運動経験に関する評価	3.45	3.33	-	3.33				
	3.56	3.20	3.22	3.33	R3前期	3.38				
9	3.43	3.18	3.44	3.08						
10	3.90	3.49	3.00	3.42	3.58					
3.75	3.29	3.33	3.58							
11	連携・協働	CSに関する評価	3.47	3.04	3.56	3.33	R3後期	3.37	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSに関する評価では、児童の評価が前期と比べて高かった。しめ縄作り体験、ふれあい交流会など、地域の方とのふれあいが実施できたからだと思われる。</li> <li>小中連携、幼保小連携に関しては教職員の評価が高かった。前期は、コロナ感染拡大防止のため、連携活動が中止になったことが原因で、後期は連携が可能になった時期があったことだと思われる。今後は島田川学園のコロナ禍での連携のあり方を検討する必要がある。</li> </ul>	
		幼保・小・中、小・小の交流や連携に関する評価	3.29	3.02	3.56	3.42				
12	3.62	-	-	3.17	R3前期	3.19				
3.45	-	-	2.67							
13	児童理解	児童理解の深化と適切な対応に関する評価	3.83	3.27	2.78	3.50	R3後期	3.47		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童理解については、毎週1回情報交換を行い学校全体で情報共有に努めている。地域の方の評価が低かったため、児童理解の取り組みに対する情報発信のあり方を見直す必要がある。</li> <li>楽しい学校については、年間を通して児童、保護者ともに安定した評価が見られた。今後も引き続き児童理解に努めるとともに、児童に寄り添うことができる教育相談体制の構築を行いたい。</li> </ul>
		楽しい学校	3.76	3.25	3.33	3.58				
14	3.77	3.67	-	-	R3前期	3.56				
3.76	3.65	-	-							
15	業務改善	業務の効率化と健康の保持に関する評価	-	-	-	3.42	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化と健康の保持に関する教職員の評価は前期と比べると低くなった。今後、タブレットを使った情報の伝達により、検討事項は会議で行うなど、会議のあり方を見直したい。</li> <li>組織力の向上に関する評価は安定した評価が見られた。コロナ禍での学校の対応については学校全体で取り組むために共通理解の場を設けた。今後も連携を密にして組織力の向上に努めたい。</li> </ul>	
		組織力の向上に関する評価	-	-	-	3.50	-	-		
16	-	-	-	3.50	-	-				
-	-	-	3.50	-	-					

## 後期の総括

全体を通して見ると、後期の評価が高くなっており、前期の課題を意識して全教職員が取り組んだ結果が表れているものと思われる。学校運営協議会でも、学校課題である「進んで読書に取り組む児童の育成」に向けて熟議を行った。課題解決に向けて取り組んだ結果が表れたと考えられ、家庭でも評価が高くなった。学校課題を地域や保護者と一緒に解決できたと思われる。一方、前期に比べると地域の方の後期の評価が全体的に低い傾向が見られた。コロナ感染拡大防止のため、学校行事の中止や縮小、または地域行事も中止となるなど地域の方がか子どもの様子を見る機会が少なかったことが原因と思われる。来年度はコロナ禍であることも想定内と考え、この課題解決のために情報発信の工夫を行いたい。CSだよりの内容の検討も行い、学校の様子がよく伝わるように努めていきたい。